

1 月 9 日 : VN 指数は鈍い値動き (VN-Index -0.42%)

- VN 指数は前場、1,250pt 水準を上回って推移していたが、流動性の低下により勢いを失った。
- 主に銀行セクターの下落が重しとなり、指数はマイナスに転じた。
- 後場に入ると売りの勢いが加速したものの、取引終盤には買い戻しが入り、下げ幅は縮小した。
- セクター別では銀行が下げを広げ、金融サービスや素材セクターが続いた。
- 126 銘柄が上昇、263 銘柄が下落、64 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 27.1%減の 7.4 兆ドンとなった。

VN30 指数も同程度に下落 (VN-30 -0.44%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、7 銘柄が上昇、21 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずであった。
- PLX (+1.83%)が唯一 1%超上昇した。
- 一方、HDB (-4.08%)、BCM (-1.52%)、SSI (-1.21%)は指数の足を引っ張った。

セクター・個別株の動き

- BID (-0.99%) は、1 株当たり 3 万 8800 ドンで約 1 億 2380 万株の私募増資を計画しており、4 兆 8000 億ドン以上の資金調達を計画。調達される資金は主に、信用活動、投資、インフラ・技術強化などの事業運営に用いられる。
- CTG (-1.06%)は、2024 年の税引前利益が 26 兆 3,000 億ドンを超え、年間目標を上回ったと発表した。同行の与信成長率は前年同期比 16.88%増。非金利収入は、保証や決済などのコア・サービスが牽引し、営業総利益の約 27%を占めた。さらに、CTG の預金増加率は前年同期比 15%増を達した。
- 外国人投資家は主に STB (-0.41%) を中心に、4,400 億ドンを売り越した。一方、買い越し銘柄はごくわずかであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。